

国東オリーブの「今」を伝えます！

第11号くにさきオリーブだより



児童が収穫体験したオリーブ学校給食に登場！

10月 富来・旭日・小原小学校の児童が国東クリーブガーデンで収穫体験を行い、搾ったオイルを給食に贈呈。

11月に「国東オリーブとバジルのマリネ」として給食のメニューになり、地元特産品や食の大切さを学ぶ機会となりました。



国東オリーブ収穫ボランティア市内外より多くの方が参加



10/30、11/4・6の3日間、収穫ボランティアを実施。

市内外から延べ20名に参加いただきました。

開催後「楽しかった」「また参加したい」と満足度の高い声を多くいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。



第43回大分国際車いすマラソン 優勝者へ国東オリーブの冠を贈呈

11/17国東オリーブを使った冠が振興協議会から優勝者へ贈呈されました。平和と勝利の象徴であるオリーブの冠は、選手たちの健闘と勝利を讃えると同時に地域特産品として大会を彩りました。



2024国東オリーブ大まんきつイベントを大分空港で開催しました

12/6～15大分空港にてオイルテイasting、葉を浮かべた足湯、オリーブアイスなど、国東オリーブを大まんきつ出来るイベントを開催。たくさんの方にお越しいただきました！



感謝

今年は協議会として新たな挑戦に取り組むことができました。これもひとえに、国東オリーブを支えてくださっている皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。



12月ゾウムシの被害確認していますか？



オリーブの木が休眠期に入る前に、ゾウムシの被害確認は必ず行いましょう。オリーブアナアキゾウムシは、近年12月にも活動が確認されています。もし、最後にゾウムシ防除を行ってから2か月以上経過している場合、すでに被害を受けている可能性が大きく高まります。木の状態をよく確認し、ゾウムシが寄生しているのを見つけた場合は、防除を行うことが大切です。



こんな園地は要注意！！

- 最後に防除を行ったのが9月以前
- 秋以降、少しずつ樹木が弱ってきている
- 株元の除草ができておらず、確認がしづらい



樹の中に幼虫が残ったままだと…

- 冬の間の食害は止まるか、ほとんど分からないほどに低下する
- 内部で生きたまま越冬する、成長した幼虫は蛹（さなぎ）となる
- 春に活動を再開、樹が急速に弱る
- 蛹（さなぎ）は成虫となり、樹の被害は更に広がる



オリーブアナアキゾウムシの防除



スミチオン乳剤を樹幹散布しましょう！



希釈する水の量	1ℓ	5ℓ	10ℓ	25ℓ
農薬原液量	20ml	100ml	200ml	500ml



オリーブの耐寒性について



国東の気候とオリーブの耐寒性

オリーブの耐寒性は品種によって異なりますが、一般的にオリーブは $-7^{\circ}\text{C} \sim -10^{\circ}\text{C}$ の寒さに耐えられるとされています。国東では、ほとんどの地域でオリーブの木が枯れるほどの厳しい寒さにはなりません。この低温に度々あう地域では、注意が必要です。



寒波の影響



- 2021年1月、国東では気温が -8°C 近くまで下がり、山の園地でオリーブの枝が枯れる被害が発生しました。
- 近年数十センチも雪が積もることがあるので、寒さに弱い品種には特に注意が必要です。
- ネバディロブランコは冬季になると葉の色が薄くなる特徴が顕著に見られます。



12月～4月は剪定の時期です

オリーブは果樹の中で生育が極めて早く、枝が生い茂ってしまうので、込み合う枝を取り除く剪定が必要になります。

12月～4月の間に剪定作業を行います。
(特に適期は1～3月です。) 植え付けから年数が短い樹でも、樹形を決める整枝剪定を行います。剪定については皆様の園地の状況が異なりますので、わからないことがあればお気軽に下記事務局までお問い合わせ下さい。



生い茂ったオリーブの木

冬期の オリーブ作業

オリーブは12月以降には休眠期に入ります
3月の萌芽に備えて準備を行いましょう
主に3種 ① ② ③ の資材を与えます

① 堆肥 良い土壌を作るために大事な資材



- 土壌の物理性を改善させ、保水力、排水性、空気循環が良好になります
- 完熟の牛糞堆肥やバーク堆肥を使用します
- 管理機や耕運機で土壌混和まで行うことで本来の効果を発揮します
- 施肥量の目安は10aで2t（1本辺り約60kg）ですが、散布できる範囲で行いましょう
- 目安量以上の施用でも生育は非常に良好となります。
植え付け時や幼木時に多く施用すると非常に生育がよくなります。

施肥時期	1月～2月上旬、次に散布する ② 苦土石灰と 2週間程度空けるようにする
資材名	牛糞、バーク堆肥などの完熟堆肥
施肥量	2t/10a
散布方法	樹冠の外周部、オリーブの根域外を管理機等で混和する
効果	土壌構造の改善、長く緩やかに効く肥料分



❄️ 冬期のオリーブ作業 ❄️

② 石灰 オリーブの本場は石灰岩地帯



- 石灰は土壌のpHを高め、アルカリ性に近づけます
- 日本の土壌の多くは酸性です
- オリーブの栽培が盛んな地中海周辺では石灰岩地帯が多く、オリーブはアルカリ性を好みます
- 目安量より多少多い施用でも問題ありません
- 苦土を含む苦土石灰を使用することで、マグネシウムも補給出来ます

②石灰前後2週間以内に
①堆肥 ③肥料を散布すると
有害なアンモニアが
発生してしまいます ⚠️

施肥時期	2月中旬～下旬、前後に散布した ①堆肥、 ③肥料と 2週間程度空けるようにする
資材名	苦土石灰：苦土はマグネシウムのこと
施肥量	植え付け時 1本辺り 3kg 植え付け1～3年 1本辺り 1kg 植え付け4～9年 1本辺り 1.5kg 植え付け10年以上 1本辺り 2kg
散布方法	枝の外側に沿って散布する。(6ページ図を参照) 生育中の根の先端が枝の外側と同じ程度の位置
効果	土壌の酸度の矯正、マグネシウムの補給 オリーブはアルカリ性を好む。目安はpH6.5以上



❄️ 冬期のオリーブ作業 ❄️

③ 肥料

肥料は年3回（春肥、夏肥、秋肥）と散布します。
春肥は新芽、花芽の形成に大事な役割を果たすので、多めに施用します。

施肥時期	3月中旬：肥料は成分を効かせたい時期が決まっているので、散布時期を守る
資材名	S280（窒素12：リン8：カリ10）その他微量元素入り
施肥量	植え付け1～3年 1本辺り0.3kg 植え付け4～9年 1本辺り1.2kg 植え付け10年以上 1本辺り1.8kg 
散布方法	枝の外側に沿って散布する 生育中の根の先端が枝の外側と同じ程度の位置
効果	枝葉の発生・伸長ならびに花芽形成などの養分の補給

